
札幌市水道施設整備事業評価委員会

審議結果

1. 委員：五十嵐 敏文 北海道大学大学院工学研究院 教授
大平 義隆 北海学園大学経営学部 教授
齋藤 友子 一般社団法人北海道ビルディング協会 専務理事
松下 拓 北海道大学大学院工学研究院 准教授
渡辺 裕子 公益社団法人札幌消費者協会 理事

(敬称略；五十音順)

2. 開催日：令和2年1月31日（金曜日）

3. 委員会の意見

対応方針に関する意見

- ・委員会の意見として、豊平川水道水源水質保全事業（水道原水水質改善事業）は継続とする。

以上

署名欄

五十嵐 敏文

大平 義隆

齋藤 友子

松下 拓

渡辺 裕子

札幌市水道施設整備事業評価委員会

審議結果

その他の意見及び助言

- ・ 通常運用時と事故災害時との違いや下水処理水の切替えなど、水の流れについてももう少しわかりやすい説明が必要である。
- ・ 事業によって、ヒ素やホウ素がどのくらい低減されるのかを示すべきである。
- ・ 原水ヒ素の低減化によって従来の水処理のコストが削減されるはずであり、メリットとして評価すべきである。
- ・ 総事業費について、増額の内訳を示した方が良い。
- ・ 費用便益比の算定について、パラメータ感度解析をいくつかのパラメータについて実施してほしい。
- ・ 従来どのあたりの事故の発生頻度が高いのか、また、自然湧水がどこから発生しているのか、そして事業によってそれらが回避される、という説明が重要である。
- ・ 国の事業では、工期など何か問題がありそうときは、委員会や検討会など専門家を交えて対応を検討する場を設けているので、今後は考えてほしい。
- ・ 放流調整池のコスト縮減について、処理の目標をどのくらいにするかを含めて、検討してほしい。
- ・ 水道事業全般においても、将来のために、コスト縮減に努めてほしい。